

MACHIDA FLYING FIGHTERS

町田市トランポリン協会機関紙

No.25 2002. 6. 25

復活で～す！

長いことお休みしていました MACHIDA FLYING FIGHTERS が復活しました。この機関紙は町田市トランポリン協会の活動をお知らせする機関紙です。1989年(平成1年)町田市トランポリン協会設立以来不定期ではありますが1997年まで年間2～3回発行されていました。諸事情によりお休みしておりましたが再び発行にこぎつけました。宜しくお願いま～す。

ベルギー&スウェーデン遠征を終わって

4月30日より5月13日までゴールデンウィークを利用してベルギーのアントワープで行われたフランダース・カップとスウェーデンのヘリユンガで行われたフリヴォルテン・カップに参加してきました。

フランダース・カップは日本国内では行われていないダブル・ミニを中心とした大会で、ダブル・ミニの団体戦があるのが特徴です。日本国内で本格的にダブル・ミニを競技として練習しているのは町田と山形県の上山だけです。今回もこの両チームが参加しました。残念ながらダブル・ミニでは決勝に残れませんでした。同時に行われたシンクロの試合では折井駿、大沢敦ペアがユースの部で準優勝、篠塚秀樹、嶋川優将(厚木)ペアがシニアの部で3位になりました。大会が行われたアントワープは歴史のある街で実行委員会の方たちが親切に街の名所を案内してくださり、中世の街のたたずまいや荘厳な教会に感動しました。

大会後ブリュッセルとストックホルムで3日ほどリラックスし、スウェーデン自慢の超特急 X2000 で次の試合が行われるヘリユンガに向かいました。この町は実にこじんまりとしており町内一周しても40分という何とも長閑な町でした。試合会場までは公園を抜けて徒歩7～8分、普段の忙しい生活を全て忘れさせてくれる一生住みた～い！と思わせてくれる綺麗な町でした。こちらの試合はダブル・ミニとトランポリンの個人戦で、トランポリンにはスイスのシドニー五輪代表のマーカス選手やベラルーシの世界カップ代表のカコルコ選手、女子ではスロバキアの世界カップ代表で昨年の秋田ワールドゲームズ代表でもあったカタリナ選手等の強豪も参加していました。

そんな中でダブル・ミニでは13・14歳部門で大沢敦選手が3位、折井駿選手が6位、ジュニア部門で篠塚秀樹選手が準優勝、中田侑歩選手が5位、トランポリンではジュニア部門で中田侑歩選手が8位に入る好成績を挙げることができ、まずまず満足のいける成績でした。選手、役員共に来年も来るぞー(お金があればね♥)！を合言葉に後ろ髪を引かれる思いで帰国の途につきました。

【参加者】 森田弘文、貝森美央、丸田祐介、中田侑歩、篠塚秀樹、大沢敦、折井駿

第 16 回東京都競技会 男女アベック優勝(Bクラス)♥

女子 中田侑歩(野津田高校)・男子 篠塚秀樹(Team Machida)

6月23日(日)日本体育大学で東京都競技会が行われました。使用するトランポリンが普段練習しているものと違うため参加を控えていましたが、選手たちの希望により久々に参加しました。結果は次の通りです。

Aクラス男子 大沢 敦 12位、折井 駿 14位 優勝 中田大輔

Bクラス男子 篠塚秀樹 優勝!!、石井政幸 4位

女子 中田侑歩 優勝!!

Cクラス男子 瓜 真守 14位

女子 内山智加 14位

Djクラス女子 岡崎舞奈 14位